

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	東北大学
連携大学名	福島県立医科大学
事業名	コンダクター型災害保健医療人材の養成

① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	<p>本事業は、自然災害、CBRNE災害、それらを合わせた複合災害に対応でき、様々な職種とチームとして協働でき、他組織と連携し、急性期から慢性期にかけて現場でも後方でも機能する「コンダクター型災害保健医療マネジメント人材」を養成することを目的とする。災害マネジメントコース(履修証明プログラム)には5年間で28名の受講者を受け入れ、20人以上のコンダクター型災害保健医療人を養成する。同コースを基盤研修とし、これに社会医学系専門医資格取得や学位取得可能なカリキュラムを付加したキャリア形成や研究推進可能な学習コース「社会医学系専門研修コース」、「大学院コース(修士課程)」「同(博士課程)」に、5年間でそれぞれ4名、9名、3名の入学者を迎え、災害医療・医学を専門とし多職種連携を推進できるコンダクター型医療人の養成と、当該分野の人材のキャリアアップを図る。</p>

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H30年度	H31(2019)年度	2020年度	2021年度	2022年度
インプット・プロセス(投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の公募(災害マネジメントコース基盤研修担当:助教2名)</li> <li>本事業周知のためのキックオフミーティング(1回:事業概要説明会)を企画</li> <li>インターネット講義コンテンツの収録・作成開始(災害保健医療セミナー関連講義45時間)</li> <li>福島県の連携施設(福島県立医科大学を含む3施設)および東北大学災害科学国際研究所とのTV会議システムの構築の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害マネジメントコース(履修証明プログラム:随時受講開始可、2年間)募集:医師・歯科医師2名、看護師2名、薬剤師1名、その他医療職2名の計7名</li> <li>社会医学系専門研修コース(3年間)募集:医師1名</li> <li>災害科学、ヒューマンセキュリティに関する授業コンテンツの作成・追加(2科目:計30時間)</li> <li>災害保健医療関連シンポジウム、セミナー(2回:計100名参加)を企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害マネジメントコース(履修証明プログラム:随時受講開始可、2年間)募集:医師・歯科医師2名、看護師2名、薬剤師1名、その他医療職2名の計7名</li> <li>社会医学系専門研修コース(3年間)募集:医師1名</li> <li>大学院コース(修士)募集:医師・歯科医師1名、看護師/薬剤師/その他医療職2名の計3名</li> <li>大学院コース(博士)募集:医師1名</li> <li>災害保健医療関連シンポジウム、セミナー(2回:計100名参加)を企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害マネジメントコース(履修証明プログラム:随時受講開始可、2年間)募集:医師・歯科医師2名、看護師2名、薬剤師1名、その他医療職2名の計7名</li> <li>社会医学系専門研修コース(3年間)募集:医師1名</li> <li>大学院コース(修士)募集:医師・歯科医師1名、看護師/薬剤師/その他医療職2名の計3名</li> <li>大学院コース(博士)募集:医師1名</li> <li>災害保健医療関連シンポジウム、セミナー(2回:計100名参加)を企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害マネジメントコース(履修証明プログラム:随時受講開始可、2年間)募集:医師・歯科医師2名、看護師2名、薬剤師1名、その他医療職2名の計7名</li> <li>社会医学系専門研修コース(3年間)募集:医師1名</li> <li>大学院コース(修士)募集:医師・歯科医師1名、看護師/薬剤師/その他医療職2名の計3名</li> <li>大学院コース(博士)募集:医師1名</li> <li>災害保健医療関連シンポジウム、セミナー(2回:最終年度として計150名以上の参加)を企画</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害マネジメントコース基盤研修の教育指導体制の整備(2大学の連携指導体制の構築、学外講師の確保、2大学や連携機関を結ぶインターネット講義体制の整備など)と学内の履修証明プログラムとしての設置手続き</li> <li>社会医学系専門研修コース設置準備(宮城県保健福祉部との連携)</li> <li>広報活動による本事業の宣伝とコース受講者の募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学院コース(修士課程、博士課程)の教育指導体制の整備(履修科目コンテンツの準備、学位研究指導体制の整備)と災害マネジメントコースの教育指導体制(特に2大学の連携)の充実化</li> <li>多職種連携の研究会・セミナーの定期的開催を企画</li> <li>広報活動による本事業の宣伝とコース受講者リクルートの継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害マネジメントコース修了候補者の審査</li> <li>広報活動による本事業の宣伝とコース受講者リクルートの継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害マネジメントコースおよび社会医学系専門研修コース修了候補者の審査</li> <li>大学院コース(修士課程)修了予定者の学位審査</li> <li>広報活動による本事業の宣伝とコース受講者リクルートの継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害マネジメントコースおよび社会医学系専門研修コース修了候補者の審査</li> <li>大学院コース(修士課程)修了予定者の学位審査</li> <li>広報活動による本事業の宣伝とコース受講者リクルートの継続</li> </ul>

アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度に向けた教員の採用(災害マネジメントコース基盤研修担当:助教2名)</li> <li>・災害医療関連シンポジウム(キックオフミーティング)(1回)を開催</li> <li>・インターネット講義コンテンツの作成(災害保健医療セミナー関連講義45時間)</li> <li>・災害公衆衛生や災害コーディネーション研修等用の教材が完成</li> <li>・本事業周知のためのチラシ(1,200枚)、パンフレット(2,000部)作成</li> <li>・福島県の連携施設(福島県立医科大学を含む3施設)とのTV会議システムを構築し、既存の宮城県TV会議システムと連結し、本事業参加6病院間のTV会議体制が完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害マネジメントコース(履修証明プログラム)開始、受け入れ決定:医師・歯科医師2名、看護師2名、薬剤師1名、その他医療職2名の計7名</li> <li>・社会医学系専門研修コースの開始、受け入れ決定:医師1名</li> <li>・災害科学、ヒューマンセキュリティに関する授業コンテンツの作成完了(2科目:計30時間)</li> <li>・災害保健医療関連シンポジウム、セミナー(2回:計100名参加)を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害マネジメントコース:新規受け入れ決定:医師・歯科医師2名、看護師2名、薬剤師1名、その他医療職2名の計7名、修了者:5名</li> <li>・社会医学系専門研修コース:新規受け入れ決定:医師1名</li> <li>・大学院コース(修士)受け入れ決定:医師・歯科医師1名、看護師/薬剤師/その他医療職2名の計3名、(博士)受け入れ決定:医師1名</li> <li>・災害保健医療関連シンポジウム、セミナー(2回:計100名参加)を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害マネジメントコース:新規受け入れ決定:医師・歯科医師2名、看護師2名、薬剤師1名、その他医療職2名の計7名、修了者:7名</li> <li>・社会医学系専門研修コース:新規受け入れ決定:医師1名、修了者:1名</li> <li>・大学院コース(修士)受け入れ決定:医師・歯科医師1名、看護師/薬剤師/その他医療職2名の計3名、(博士)受け入れ決定:医師1名、修士号取得者2名</li> <li>・災害保健医療関連シンポジウム、セミナー(2回:計100名参加)を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害マネジメントコース:新規受け入れ決定:医師・歯科医師2名、看護師2名、薬剤師1名、その他医療職2名の計7名、修了者:7名</li> <li>・社会医学系専門研修コース:新規受け入れ決定:医師1名、修了者:1名</li> <li>・大学院コース(修士)受け入れ決定:医師・歯科医師1名、看護師/薬剤師/その他医療職2名の計3名、(博士)受け入れ決定:医師1名、修士号取得者3名</li> <li>・災害保健医療関連シンポジウム、セミナー(2回:計150名参加)を開催</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害マネジメントコース基盤研修の教育指導体制(2大学の連携を含む)の確立と同コースの東北大学履修証明プログラムとしての学内承認</li> <li>・社会医学系専門医研修宮城県プログラム管理委員会による社会医学系専門研修コース設置の承認</li> <li>・HPの作成と地域報道機関への情報提供。これによる受講希望者のリクルート</li> <li>・「運営委員会」による自己点検・内部評価、「外部評価委員会」による外部評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院コース(修士課程、博士課程)の教育指導体制の確立と災害マネジメントコース運用方法の改良。大学院入学試験の実施</li> <li>・災害医療における多職種連携セミナー開催の定期化による多職種連携体制の強化</li> <li>・本事業の宣伝および報道機関への情報提供により次年度のプログラム受講者の確保</li> <li>・「運営委員会」による自己点検・内部評価、「外部評価委員会」による外部評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各コースの運用方法の改良。大学院入学試験の実施</li> <li>・広報活動による次年度のプログラム受講者の確保</li> <li>・「運営委員会」による自己点検・内部評価、「外部評価委員会」による外部評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各コースの運用方法の改良。大学院入学試験の実施</li> <li>・広報活動による次年度のプログラム受講者の確保</li> <li>・「運営委員会」による自己点検・内部評価、「外部評価委員会」による外部評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各コースの運用方法の改良。大学院入学試験の実施</li> <li>・広報活動による次年度のプログラム受講者の確保</li> <li>・「運営委員会」による自己点検・内部評価、「外部評価委員会」による外部評価の実施</li> </ul>
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県における災害マネジメントコース修了者5名のうち5名が宮城県災害医療ロジスティクススタッフに登録し、災害医療で活躍できる地域人材が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県における災害マネジメントコース修了者7名のうち5名が宮城県災害医療ロジスティクススタッフに登録し、災害医療で活躍できる地域人材が増加</li> <li>・社会医学系専門研修コース修了者1名が、社会医学系専門医を取得し、行政や環境保健等の分野で災害復興や災害予防を自ら企画立案する人材が定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業終了時に、宮城県における災害マネジメントコース修了者7名のうち5名が宮城県災害医療ロジスティクススタッフに登録し、災害医療で活躍できる人材として地域に定着</li> <li>・社会医学系専門研修コース修了者1名が、社会医学系専門医を取得し、行政や環境保健等の分野で災害復興や災害予防を自ら企画立案する人材が定着</li> <li>・大学院コース(修士課程)修了者1名が大学病院あるいは地域医療機関の災害医療専門スタッフとして従事</li> <li>・事業終了時に災害マネジメントコース(履修証明プログラム)在籍中が9名、修了者19名の予定であるが、事業終了後も同コースを継続し5名/年程度の養成を継続</li> </ul>	
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2大学間および東北大学内部局間のインターネット環境を整備することによる教育ネットワークの構築</li> <li>・HP開設と地域報道機関への情報提供による本事業の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害マネジメントコースの多職種参加者のつながりを通して、災害医療における多職種連携が強化される。</li> <li>・HPの運用等により本事業が周知されることで、災害医療人材養成の重要性が認知される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害マネジメントコース修了者;コンダクター型災害保健医療人の地域医療への貢献</li> <li>・災害マネジメントコースの教育法の改良および新たな教育法の開発によって、多職種連携による医療マネジメント能力がより効率的に向上する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本プログラムにて養成されたコンダクター型災害保健医療人により災害医療・医学研究が推進される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業で開発した災害マネジメント教育システムを標準化し、災害医療保健医療人材養成を継続的に実施できる体制が複数の地域に確立される。</li> <li>・本事業の大学院コースで養成された人材により災害医療・医学研究の成果が発信される。</li> </ul>

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業の実施に当たっては、学長・病院長等のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。	東北大学は平成29年に指定国立大学の認定を受け、世界トップレベルの研究拠点を目指す4領域の一つとして「災害科学」をあげている。本事業は東北大学病院長の責任のもと東北大学病院が主体となって実施するが、事業終了後は、災害科学国際研究所と東北大学病院が協力しながらシームレスに指定国立大学の災害科学研究拠点構想のフレームにシフトし、同拠点の国内人材育成部門に発展的に移行する予定である。
②	客観的なアウトプット、アウトカムを年度毎に明確にした上で、自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国の模範となる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、本事業における多職種養成等の特性を踏まえ、履修する学生や医療従事者等が受講しやすい環境整備に配慮するとともに、修了者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。	両大学の部局長などからなる「運営委員会」で年1回自己点検・評価を実施するほか、自治体、地域病院、DMAT、日本赤十字社などの代表者から「外部評価委員会」を設置し、年1度事業の進捗状況及び効果の外部評価を依頼し、その評価・提言に基づいて事業の改善を継続的に実施する。また、履修状況、学修環境について履修者について職種ごとにアンケート調査等で意見聴取を行い、継続的に受講環境の整備・改良を実施する。
③	事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信すること。また、他大学・大学病院の参考に資するよう、特色ある先進的な取組やモデルとなる取組について、実現するためのノウハウ、留意点等についても積極的に発信するなど、成果等の普及・展開に努めること	本事業専用のホームページやSNSを開設し、定期的に、研修会、セミナー等の開催案内、プログラムの進捗経過を随時発信する。また、本事業成果の普及・啓発を目的とした災害保健医療のあり方に関するシンポジウムや教育セミナー/研修会を各年度2回開催(100名/年目標)する。研修会やセミナー、講義は医療関係者に対し可及的にオープン参加可能とし、広くプログラムの普及に努める。将来的には他県・他大学にも本事業の教育コンテンツの普及を図る予定である。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(充実を要する点)	対応方針
社会医学系専門研修コースとして、初期研修を終えた医師を対象にしているが、専門医制度が始まったことにより、受講者確保に不安が残る。	社会医学系専門研修コースの対象は、「2年間の臨床研修を終了した医師で、かつ宮城県保健福祉部(基幹施設)または東北大学(連携施設)内の宮城県から連携に指定された分野に所属する者」であり、具体的には、現在、宮城県保健福祉部所属の医師(保健所長など)あるいは東北大学大学院医学系研究科の公衆衛生学分野、産業医学分野、総合地域医療教育支援部など新専門医制度とは直接関連しない特定の分野に現在所属している医師である。したがって、受講者確保において新専門医制度が支障になる可能性はそれほど高くはないものと予想している。
多種多様な教育プログラムにより、広く浅い教育となることが危惧されることから、実践力の伴った人材育成が望まれる。	本事業で設置する4種の教育プログラムのうち、「社会医学系専門研修コース」を除く3つのコースでは、災害マネジメントコース(履修証明プログラム;2年間)で開講される講習・研修(120時間)の受講(基盤研修)が、その職種にかかわらず義務づけられている。この基盤研修を充実させることで、コースの選択にかかわらず、実践力が伴った人材育成が図られるように履修プログラムを設計する予定である。一方、「社会医学系専門研修コース」は医療の実践の中で人材を育成するプログラムであることから、他の3コース以上に実践力の養成が図られることが期待される。